

平成 2 5 年 1 2 月 1 3 日開会

平成 25 年度第 9 回教育委員会定例会会議録

垂水市教育委員会

議決事項

件名	提案理由	審議の状況	採決の次第
<p>報告第9号 平成25年度12月補正予算案についての市長への意見申出について</p>	<p>12月補正予算案の作成について、教育長の臨時代理により差し支えない旨回答したこと、及びその内容について報告するものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	
<p>報告第10号 垂水市教育委員会職員の懲戒処分について</p>	<p>教育委員会職員の懲戒処分について、教育長の臨時代理により懲戒処分を行ったこと、及びその内容について報告するものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	
<p>議案第39号 垂水市障害児就学指導委員会答申について</p>	<p>垂水市障害児就学指導委員会の答申を受けて、障害児の望ましい措置を決定しようとするものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	<p>承認</p>
<p>議案第40号 平成26年度垂水市一般会計当初予算要求について</p>	<p>平成26年度当初予算案の作成について、教育委員会の意見を申し出ようとするものである。</p>	<p>特記事項なし</p>	<p>承認</p>

平成25年度第9回教育委員会定例会出席者

日時及び場所	出席者	
<p>平成25年12月13日（金）</p> <p>午前14時00分</p> <p>↓</p> <p>午前16時15分</p> <p>小会議室</p>	<p>教育委員長 野村 繼治</p> <p>教育委員 田原 正人</p> <p>教育委員 中谷 いつみ</p> <p>教育委員 葛迫 幸平</p> <p>教育長 長濱 重光</p>	<p>教育総務課長 川畑 千歳</p> <p>学校教育課長 牧 浩寿</p> <p>社会教育課長 瀬角 龍平</p>

会 議 要 旨

1 開 会

定刻、定足数に達しており、平成25年度第9回教育委員会定例会を開会した。
報告第10号と議案第39号及び議案第40号の3件は非公開で審議する旨、委員長から発議があり、全会一致で議決された。

2 平成25年度第8回教育委員会定例会会議録の承認

承認

3 委員並びに教育長及び課長報告

4 議 事

- 報告第9号 平成25年度12月補正予算案についての市長への意見申出
について
報告第10号 垂水市教育委員会職員の懲戒処分について
議案第39号 垂水市障害児就学指導委員会答申について
議案第40号 平成26年度垂水市一般会計当初予算要求について

5 その他

6 閉 会

<p>3 報 告</p>	<p>委員並びに教育長及び課長報告</p>
<p>委員長</p>	<p>教育委員、教育長及び各課長の報告に入る。</p>
<p>委員長</p>	<p>11月24日、地区公民館経営研究大会に参加したが、牛根地区、大野地区、新城地区3地区公民館の実践活動発表を通じて、地域の人が気安く集まれる、困ったらお互いに助け合う、そして地域が一体となり大きな力が生まれるという公民館活動の役割と、それぞれの地域で努力されているということが良く理解できた。分科会では本音で具体的な意見が出されたが、地域の集まりに男性の出席が鈍いので、集まりやすい雰囲気を作れたらとの発言もあった。</p> <p>11月27日、学校経営報告会に出席した。校長先生を始めとして、校務に一生懸命勤しんでいることが良くわかった。別添えのプリントを使って説明する学校もあり良かった。報告会の進行の形や内容的やりとり等についてベストであるか、もっと工夫する点はないか検討したらどうか。</p> <p>12月7日、青少年のための科学の祭典に出席したが、ブースが昨年より増えて26ブース、参加者も750人と大盛況であった。子ども達の目の輝き、集中力、驚きの顔を見て、参加者が1,000人に達するよう更なる努力、発展を期待する。一点気になったことがある。手作りおもちゃのブースは順番待ちするくらいの盛況であったが、1人1個で、午前・午後とも各10人の制限があり不足するのは明白であったので、どうにかならないかと思った。</p>
<p>田原委員</p>	<p>11月24日、地区公民館経営研究大会に参加して、それぞれの公民館でいきいきと活動している実践が良くわかった。このような会議を通して、公民館がお互い刺激し合って充実した活動が広がると思った。願わくば、参加された意識の高い人が増えていくことを期待したい。</p> <p>11月27日、学校経営報告会では、校長先生から経営の課題と結果が的確に説明され、良くわかった。各校の良さ、課題を見つけてもっとアドバイスができれば良かった。校長先生にやる気を持っていただく会なので、あり方を考えていきたい。</p> <p>12月5日、人権教育研修会に参加した。性同一性障害を持つ保護者の講演は心に迫るものがあった。以前、学校長時代に性同一性障害の事例に対応したことがあった。担任や保護者と子どもを認める対応をしたが、身につまされる話であった。今日の新聞に性同一性障害の父親と血のつながりの無い子どもを嫡出子と認める判決の記事が掲載されていた。教育委員会として学校としてどう対応していけば良いか、正しい認識を以て対応することが大切であることから、今後、研修が必要と考える。</p>
<p>中谷委員</p>	<p>11月27日、学校経営報告会に出席した。各校、一生懸命取り組みされていて安心した。保護者が複式学級5校の良さを本当に理解しているか確認し合ったりお知らせする必要があると思う。</p> <p>12月2日から垂水中央中の3者面談が実施され、受験校を決定した。高校志望動機や高校卒業後の進路についても保護者、担任を前に生徒が話をした。こんなことも考えられるのかと嬉しかったり、巣立っていく寂しさ</p>

中谷委員	<p>も感じた。</p> <p>12月10日、12月11日に開催された市PTA連絡協議会母親委員会の「市長と語る会」に向けて、柘原小学校の保護者が会議を開催し、呼ばれて参加した。母親の学校に対する思いがたくさん出された。保護者に複式学級が理解されていないと感じたので、お知らせしたり、話す必要があると思った。保護者は我が子がどの高校に入学できるか、どの程度の学力があれば良いのか知りたがっていた。また、困ったことがあった時に、学校に言うべきか市教育委員会に言うべきか分からないと母親は悩んでいた。</p> <p>12月12日、中央中学校の持久走大会が開催され、学校応援団で参加した。中央中PTA保健体育部と一緒に交通整理を行った。先生に、学校応援団の協力があつたので大会が成立したと感謝された。学校はもっと要望を出して欲しい。</p> <p>12月27日、赤い羽根募金の補助を活用し、小学生から大学生、公民館役員や校長先生などに集まってもらいコンサートを計画している。これは、地域で声かけができるようつながりを持つことを目的にしている。</p>
葛迫委員	<p>11月24日、地区公民館経営研究大会に参加して感じたことは、3地区公民館主事がいろいろなテーマで発表されたが、どの公民館も少子高齢化問題が発表の根っこにあるということだった。特に新城地区公民館主事が、「公民館は仕掛け人である」と発表されたが、地元の住民だけでなく学生や一般の方が出入りすることにより地域が活性化していくということは自分もそのとおりと感じた。ただ、仕掛け人としての公民館はいつ、何をどうすれば地域が活性化するのかという内容を聞きながら、特徴ある公民館づくりがあつたらもっと良いと感じた。これからの様々な課題や指針を探し出すことが議論の対象になると思ったので、一人ひとり機知に富んだ議論が欲しかった。</p> <p>12月5日、人権教育研修会の性同一性障害についての講演で、学校教育では大きな問題になると聞いて、そうだろうと思った。学校教育では不登校や校内暴力、いじめという問題、又、学力を巡る様々な問題を抱えているが、性同一性障害の人権問題はただただ大きくなり答えは見つからないという感じがした。手術をして不安は無いのか、偏見という問題ではなく、もっと大きな問題が隠れていると思った。家庭や地域や学校で事例が出てきた時、どう対応すれば良いか大きな問題を投げかけられた気がする。</p> <p>青少年のための科学の祭典については、非常に面白かった。良く分からないけれど面白いという、そこに惹かれることが科学の世界にはあると思う。新しい物を造ることが、子ども達には楽しいのかなと思った。なぜだろうとか、どうしてだろうという問題に子どもは興味があつて飛びつくと思う。科学には答えがある。その答えを探すべく、楽しみながら、遊びながら学習していく。そうすることで創造性が豊かになると思った。</p>
教育長	<p>12月7日、青少年のための科学の祭典の前に、新城地区のグランドゴルフ場オープニングセレモニーに出席した。寄付のあつた土地を、地域の熱意と行動力、団結力を以てボランティアで整備され、驚いた。グランドゴルフ場には桜が植栽され、大会には26チーム260人以上が参加して盛大に行われた。夜は、完成記念と2013年度豊かなむらづくり全国表彰での農林水</p>

教育長	<p>産大臣賞受賞の祝賀会も開かれた。</p> <p>12月11日の夜、市PTA連絡協議会母親委員会の「市長と語る会」に社会教育課長と同席したがいろいろな意見が出された。主なものは、小規模校から中央中への入学の不安や、プールへの屋根設置の要望が出された。また、携帯電話を持たせるべきかどうかについて議論が行われた。複式でない小学校の保護者からは、他校との集合学習の要望や合同修学旅行が実施できれば、中央中への入学に不安が無くなるとの意見も出された。他には、自習時間への対応として補助教員配置の要望があった。「あつまれわんぱく！夏の勉強会」の開催は大好評であった。</p> <p>「市長と語る会」の中で、保護者へ3つお願いをした。1つは、中学校は小学校と違い、少し指導を厳しくせざるを得ないことへの理解を求めたこと、2つ目は、子ども達のこと第三者が関与して、事実と異なる情報を流さないようにして欲しいこと、3つ目は、他県で起こっている子どもが自ら命を絶つような不幸な出来事を垂水市から絶対に出したくないので、先生達が気付かないような情報を学校もしくは市教育委員会に提供していただきたいことをお願いした。</p>
教育総務課長 学校教育課長 社会教育課長	<p>11月13日から12月13日までの主な行事等について報告。併せて、1月10日までの予定についてお知らせした。</p>
4 議 事 教育総務課長	<p>報告第 9 号 平成25年度12月補正予算案についての市長への意見申出について 補正予算案の作成について、教育長の臨時代理により差し支えない旨回答したこと、及びその内容について報告した。 (質疑なし)</p> <p>報告第 10 号 垂水市教育委員会職員の懲戒処分について (非公開)</p> <p>議案第 39 号 垂水市障害児就学指導委員会答申について (非公開)</p> <p>議案第 40 号 平成 26 年度垂水市一般会計当初予算要求について (非公開)</p>
5 その他	なし
6 閉 会	

